

赤錆を黒錆に変えて錆の進行を素早くストップ

# EX-Proof

エクス×プルーフ

錆止め・赤錆転換剤 超速乾

## 錆止め・赤錆転換剤 (超速乾)

超速乾

### 錆止め・赤錆転換剤とは？

錆転換剤とは、赤錆を黒錆に変えて錆の進行を防ぎます。

#### 1 超速乾の指触乾燥10分～15分!!

他の錆転換剤（6～24時間）に比べてはるかに短い乾燥時間です。初期乾燥は常温で10分～15分。30分後には、ほぼ乾燥硬化します。2度塗りが効果的です。30分経過後油性系塗料を上塗り可能です。

#### 2 自動車下廻り等あらゆる鉄製品に使用できます。

門扉、フェンス、カーポート、農機具、リフト、自転車にも使用可能です。

#### 3 浮いた錆を除去し、刷毛にて塗布してください。

ワイヤーブラシ、サンドペーパー等で古い塗膜や浮いた錆を除去、塗布するだけで錆の進行を長期間防止します。

#### 4 下廻り防錆の前処理として最適!!

シャーシーブラックはもとより、クリア防錆剤との併用が効果的です。

#### 5 耐熱温度は150℃（短時間200℃まで）

マフラー以外の自動車下廻りの鉄製部分全般に使用可能です。



### 黒錆化のメカニズム

赤錆

赤錆は科学的には水酸化鉄 (Fe(OH))または酸化第二鉄 (Fe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>)とって密度が低く、中に水気が染み込んでどんどん錆が進行してしまいます。また、低密度であるために体積が増大し周辺の塗装をはがしてしまいます。



黒錆

黒錆 (Fe<sub>3</sub>O<sub>4</sub>)は赤錆と比較して密度が高く化学的に安定した状態であるため、鉄の表面を覆うと錆が進行しにくいと言われています。南部鉄器等では意図的に黒錆による被膜を形成させることが知られています。



還元

《赤錆と黒錆の体積比イメージ》



## 施工方法

### 1 素地調整

錆びている箇所の古い塗膜と浮き錆を可能な限りワイヤーブラシ・サンドペーパー等で除去してください。凹み、亀裂等状態がひどい場合は凹み部分はパテ等で補修、亀裂などは溶接作業を行ってください。

### 2 塗装

錆の箇所に、原液を刷毛で均一に塗布してください。

### 3 塗装回数 1～2回 (2度塗りはさらに効果的です。)

錆びやすい鉄板の合わせ目や奥まった所を中心に1度施工を行った後、全体の施工を行っていきます。(最初に塗布した箇所も2度塗りしてください。) 錆の発生がひどい場合は必ず2度塗りしてください。

### 4 塗布量 20～30ml/m<sup>2</sup>(1度塗り)

錆の度合いにより異なりますが、塗布量は2度塗りです。(普通車クラスの下廻り)

### 5 乾燥時間 約10分で黒く変色してきます。

30分経過後、油性系塗料やクリア防錆剤の上塗り塗装可能です。



### ⚠ 注意点

- 塗装前に塗料をよく攪拌してください。
- 小分け容器はプラスチック容器をご使用ください。
- 1度本体容器から出した液は本体容器に戻さないでください。

## 錆止め・赤錆転換剤とクリア防錆剤の相乗効果

※処理鉄板の腐食耐久試験

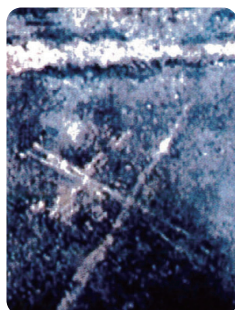
錆止め・赤錆転換剤を塗布した後、クリア防錆剤を塗布しますと飛び石などで塗布面に傷が付いても錆の発生を予防します。

### 錆止め・赤錆転換剤のみ

傷(深)



深漬直後



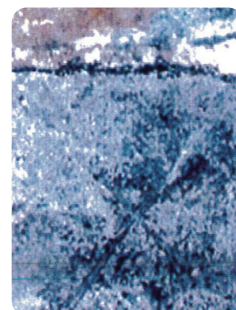
4日後 錆発生

### 錆止め・赤錆転換剤+クリア防錆剤

傷(深)



深漬直後



4日後

## 錆止め・赤錆転換剤+クリア防錆剤 実車試験

**方法** 車輦下廻りの錆部分に対して錆止め・赤錆転換剤とクリア防錆剤を塗布した後、実際に3ヶ月間通常走行後の変化を観察した。

**結果** 錆止め・赤錆転換剤+クリア防錆剤の両方を塗布した部分が最も防錆効果が高いことがわかった。



深漬直後



錆転換剤塗布



クリア防錆剤上塗り



3ヶ月走行